

日本経営工学会論文誌 論文チェックシート

論文題目:

著者チェック欄

著者は投稿前に1~6の項目ごとに、下の該当するものの□に■にして、必要なすべての項目に■があることを確認してください。ただし、5~6の項目には原則、全部に■があることが必要です。

1. 研究の主題

- 経営工学領域の学術論文としてふさわしい内容をもっている。

以下から指定した投稿区分を選んでください。

- 原著論文 調査研究
 原著論文 理論・技術
 原著論文 事例研究
 研究速報
 論文内容は上記投稿区分にふさわしい内容をもっている。

2. 新規性

- 総合的に見て、学術的に価値のある新規性を含んでいる。
→ シート(裏面)で詳細をチェックしてください。
 著者の研究を含む従来研究は的確に参照しており、それに加えての新規性がある。

3. 有用性:(いずれかに■をしてください。)

- 実務家にとって、実施による経済効果の可能性がある。
 実務家に対し啓発効果がある。
 理論的なブレイクスルーあるいは改善を実現した。
 新たな研究領域を拓く視点を与えた。
 上記以外の次の有用性がある(枠内に簡潔に記述してください)。

4. 信頼性:(論文がその内容を含む場合■を検討してください)

- 式、証明、実験・実証方法に誤りが見あたらない。
 実験・実証結果の評価方法が妥当である。
 得られた結果が正しく結論づけられている。

5. 了解性:(研究速報の場合は該当するもののみ検討ください)

- 研究目的が明確に述べられている。
 関連する文献が適切に引用され、従来研究との関連が明確に述べられている。
 前提となる理論、実験条件、方法、評価指標などが明確に述べられている。
 必要以上に難解な標記・表現がなく、簡潔な文体で書かれている。
 必要な図表が過不足なく、見やすく作成されている。
 全体として、論文が冗長でない。
 内容を小出しにしている傾向がない。

6. 記述にエディトリアルな誤りがない。

- 誤字脱字がない。
 参考文献リストが学会指定様式に準拠している。
 図表とその表題が学会指定様式に準拠して挿入されている。
 (カメラレディ原稿の場合)そのまま印刷してよい版面となっている。

査読者は、以上の著者確認項目について、説明が必要な部分、論文に対する疑問・不明・修正の箇所などについては、査読コメントとして記入してください。その際、ページ、行、もしくは図表番号などを明示し、できるだけ具体的にご記入ください。

(裏面)新規性のチェックシート

著者チェック欄

選んだ投稿区分の項目について、□を■に変えることで、チェックしてください。該当しない場合チェックは不要です。

調査研究

- 調査対象が重要な問題である。
- 調査結果の分量が充分にある。
- 体系的にまとめられている。
- まとめ方にオリジナルな視点がある。

理論・技術

- 経営工学分野の課題整理やモデルとして新規性がある。
- 理論展開に新規性がある。
- 理論の応用に新規性がある。
- 原理・原則に新規の提案がある。
- 従来文献にない新たな実験・実証結果を含む。

事例研究

- 現場における重要な課題を的確に取り上げている。
- 適用した手法や原理・原則が明確に述べられている。
- 手法や原理・原則を課題に合わせて工夫して適用している。
- 利用効果が客観的に評価されている。
- 波及効果が認められる。

研究速報

研究速報は、基本的には論文の外形から規定される区分で、新規性の在り方については、特に規定しません。上記の論文区分の欄の該当部分を選んで■してください。下記から選んでも結構です。

- 研究活性化に貢献する現場データの公表および解説である。
- 既存研究に対する批評または拡張である。
- その他

著者からの備考

必要があれば、上で■した点の具体的な概要を枠内に簡潔に記述してください。